インストールガイド

AXIS P3363-VE ネットワークカメラ

AXIS P3364-VE ネットワークカメラ

このマニュアルについて

このマニュアルでは、AXIS P3363-VE、AXIS P3364-VE、をネットワークにインストールする場合の手順について説明しています。ネットワークの構築経験をお持ちの場合は、本製品のインストールに役立ちます。

法律上の注意事項

ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用いただく地域の法律を確認してください。
本製品には H.264 デコーダー用のライセンスが 1 つ含まれています。追加ライセンスのご購入については、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は、次の該当規格に準拠するよう設計および試験されています。
指示にしたがって設置し、意図された環境で使用された場合の、無線周波放出。
指示にしたがって設置し、意図された環境で使用された場合の、電気および電磁現象に対する耐性。

米国 – 電気環境の特性によっては、シールドケーブル (STP) の使用が適切な場合があります。この場合は、以下の事項が該当します。本機器は、シールドケーブル (STP) を使用して行われた FCC 規則 Part 15 に定められたクラス B デジタル装置に関する規制要件の試験に合格し、同規則に準拠することが証明されています。これらの規制は、一般家庭で取り付けた場合に、有害な障害に対する適宜な保護を提供するために定められています。本装置は無線周波数を発生および使用し、また放射する可能性があるため、指示通りに設置および使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害をもたらすおそれがあります。ただし、特定の設置で妨害が生じないという保証はありません。本装置がラジオおよびテレビ受信機に対して有害な妨害をもたらし、本装置の電源の入 / 切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の 1 つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。

- 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- 本装置と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本製品を接続する。
- 販売代理店または経験豊かなラジオ / テレビ技術者に相談する。

カナダ – このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

欧州 – CE 本製品は、EN55024 の事務所および商業環境に準じた耐性に関する条件を満たしています。
本製品は、EN 61000-6-1 住宅、商業および軽工業環境に準じた耐性条件を満たしています。
本製品は、EN 61000-6-2 産業環境に準じた耐性条件を満たしています。

Japan – この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目 的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、 受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

オーストラリア – このデジタル機器は、AS/NZS CISPR 22 のクラス B 限度に準じた無線周波放出条件を満たしています。

Korea - 이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

装置の改造

本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがって設置および使用してください。本装置には、ユーザーが交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任

本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、最寄りの Axis 事業所までご連絡ください。また Axis Communications AB は、技術的な間違いや誤字･脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。Axis Communications AB は、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。Axis Communications AB は、この資料の提供、パフォーマンス、使用に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。

RoHS

本製品は、欧州 RoHS 指令 (2002/95/EC) および中国 RoHS 指令 (ACPEIP) に適合しています。

WEEE 指令

欧州連合では、電気および電子装置廃棄物についての指令 2002/96/EC (WEEE 指令) を導入しました。この指令は、欧州連合加盟国に適用されます。
本製品またはその資料の WEEE マーク (右側を参照) は、家庭のゴミと一緒にこの製品を捨ててはならないことを示しています。人間の健康および / または環境への害を防止するために、本製品は承認を受けた環境的に安全なリサイクルプロセスで処分することが必要です。本製品を正しく処分する方法について詳しくは、製品のサプライヤーまたはご使用地域でのゴミ処理を担当する地域当局にご連絡ください。
業務ユーザーの方は、本製品の正しい処分方法について、製品のサプライヤーまでご連絡ください。本製品は、他の産業廃棄物と混合しないでください。詳細については、www.axis.com/techsup/commercial waste を参照してください。

サポート

技術サポートが必要な場合は、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。Axis 販売店がお客様のご質問にすぐに回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急に回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことが行えます。

- ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロードする。
- FAQ データベースで問題の解決方法を見つける。製品別、カテゴリー別、または語句を使用して検索する。
- 専用サポートエリアにログインして、Axis サポートに問題を報告する。

安全確保

製品をインストールする前に、本インストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは今後参照するために保管しておいてください。

⚠ 警告！

- Axis 製品を輸送する場合には、製品の損傷を防ぐために元の梱包または類似した梱包を使用してください。
- Axis 製品は、乾燥した換気のよい環境で保管してください。
- 製品が損傷する可能性があるため、振動、衝撃または強い圧力が製品にかからないようにし、カメラを不安定なブラケット、不安定または振動する場所や壁に取り付けないでください。
- Axis 製品を取り付ける際は、手動工具のみを使用してください。電動工具を使用したり、過剰な力をかけると製品が損傷することがあります。
- 化学薬品、腐食剤、噴霧式クリーナーは使用しないでください。清掃する場合には湿った布を使用してください。
- 製品の技術仕様に準拠したアクセサリーのみを使用してください。このようなアクセサリーは Axis またはサードパーティーから購入できます。
- Axis が提供または推奨する交換部品のみを使用してください。
- 製品を自分で修理しないでください。修理に関しては Axis または Axis 販売店にお問い合わせください。

⚠ 重要！

- 本 Axis 製品は、お使いになる国・地域の法律および規制にしたがって使用してください。
- 本 Axis 製品を屋外で使用する場合は、専用のハウジングを利用して設置を行ってください。

バッテリーの交換

本 Axis 製品は、内部のリアルタイムクロック (RTC) 用電源として 3.0V CR2032 リチウムバッテリーを使用しています。通常、このバッテリーは最低 5 年間使用できます。バッテリーが低電力の状態となると、RTC の動作に影響し、電源オンのたびにリセットされます。バッテリーの交換が必要になった場合、ログメッセージが表示されます。バッテリーは、必要な場合以外には交換しないでください。

バッテリーの交換が必要になったときは、www.axis.com/techsup を参照してください。

- バッテリーは、正しく交換しないと爆発する危険があります。
- メーカーが推奨する同じバッテリーまたは同等のバッテリーのみと交換してください。
- 使用済みバッテリーを廃棄する際は、メーカーの指示にしたがって処分してください。

ドームカバーの掃除

- ドームカバーに傷が付いたり破損しないように、注意して取り扱ってください。肉眼で見て汚れがない場合は掃除しないでください。また、絶対に表面を磨かないでください。過度な清掃により、表面が破損することがあります。
- 一般的なドームカバーの掃除には、研磨剤が含まれない無溶媒の中性石鹸または洗剤と水、柔らかい布を使用することをお勧めします。きれいなぬるま湯でよくすすいでください。ウォータースポットを防ぐため、柔らかい布でふき乾かしてください。
- 強力な洗剤、ガソリン、ベンジン、アセトンなどは絶対に使用しないでください。また、直射日光が当たる場所や気温が上昇する場所での清掃は避けてください。

AXIS P3363-VE/P3364-VE ネットワークカメラのインストールガイド

以下の手順にしたがって、ネットワークカメラをインストールします

重要！
本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

日本語

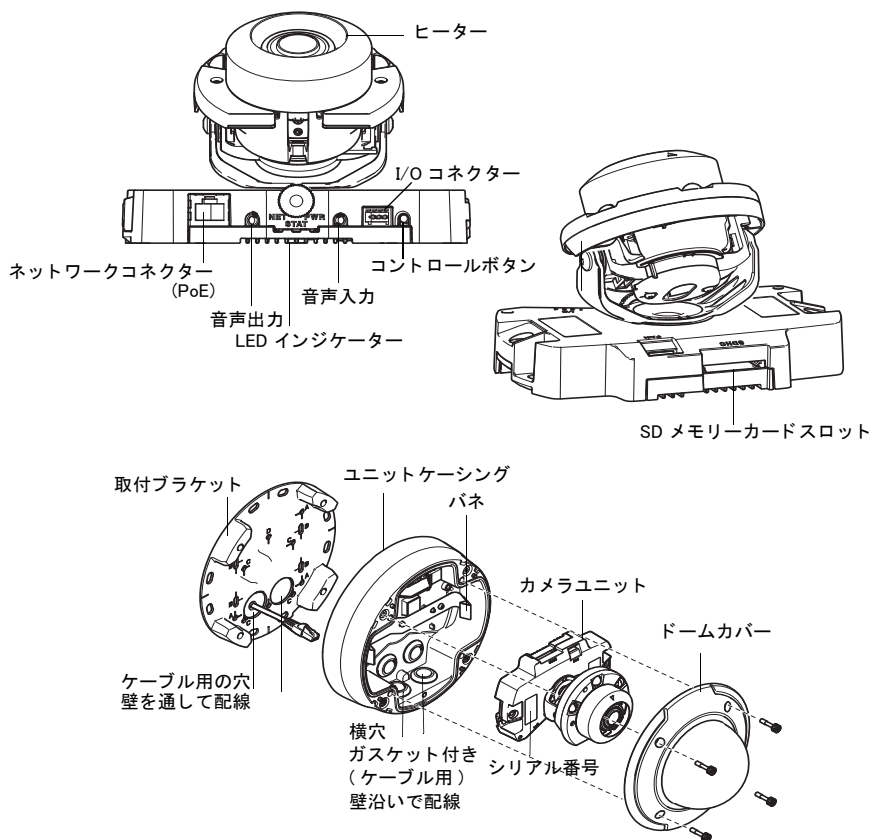
注記 :

- 始める前に、パッケージの内容、電源、および必要なケーブル、道具、およびマニュアルがあることを確認します。以下の*パッケージの内容*を参照してください。
- このネットワークカメラは。PoE が使用できない場合、Axis PoE ミッドスパン 1 ポート (付属していません) を使用してください。

❶ パッケージの内容

品目	モデル / 型 / 注
ネットワークカメラ (ヒーティングモジュール付き)	AXIS P3363-VE AXIS P3364-VE
取付ブラケット	
ドームカバー	クリア (透明) カバー スモーク (半透明) カバー
ウェザーシールド	
ラベル	2 枚のシリアル番号接着ラベル
取付キット	トルクスドライバー、長いねじ (2 本)、穴開けテンプレート、5 メートルのガスケット付きネットワークケーブル、ガスケット (1 個)、ターミナルブロックコネクター
CD	AXIS ネットワークビデオ製品 CD (インストールツール、その他のソフトウェアを含む)
印刷物	インストールガイド (本書) Axis 保証契約約款 AVHS 認証キー
オプションアクセサリー	ケーブルシールドのあるスレッド付きアダプター 利用できるアクセサリーについては、www.axiscom.co.jp を参照してください。

ハードウェアの概要

カメラ AXIS P3363

警告 : カメラユニットのヒーターは熱くなる可能性があります。

寸法 (高さ x 幅)

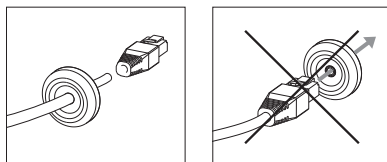
AXIS P3363-VE/AXIS P3364-VE = 110 x 179 x 179 mm

重量

AXIS P3363-VE/AXIS P3364-VE = 1.5 kg

③ ハードウェアのインストール

ネットワークケーブルを準備する

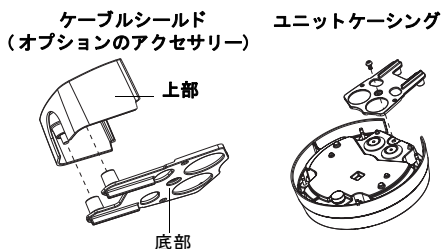
付属のケーブル以外のケーブルを使用する場合には、ガスケット付きのネットワークケーブルを準備する必要があります。付属のガスケットにケーブルを少しずつ押し入れ、ネットワークコネクターに接続します。場合によっては、トルクスドライバーでガスケットに穴を開ける必要があります。

注記：
- ネットワークコネクターをガスケットに無理に押し入れないでください。
- ナイフその他尖ったものでガスケットに穴を開けないでください。

日本語

ユニットケーシングを準備する（壁沿いのケーブル配線）

ケーブルを壁に沿って配線する場合、次のようにユニットケーシングを準備します。

注記：ケーブルシールドはオプションのアクセサリーであり、製品には付属していません。

1. ケーブルシールド（付属していません）の 2 本のねじを緩めて、底部を外します。
2. ケーブルシールドの下部をユニットケーシングにねじで留めます。

クリア / スモークドームカバーを交換する（オプション）

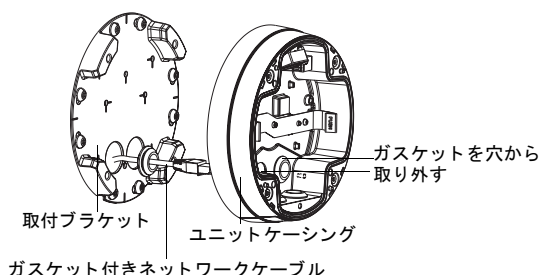
AXIS P3363-VE/AXIS P3364-VE にはオプションのドームが付属しています。ドームカバーを交換するには、以下の手順を実行します。

1. ドームカバーの下の、ドームを固定している 4 本のねじを緩めます。
2. 古いドームから新しいドームにガスケットを付け替えます。
3. 古いドームを新しいドームに交換して、ねじを締めます。

ケーブルの配線

ケーブルを壁に通すか壁に沿って配線するかによって、以下の該当する手順にしたがいます。

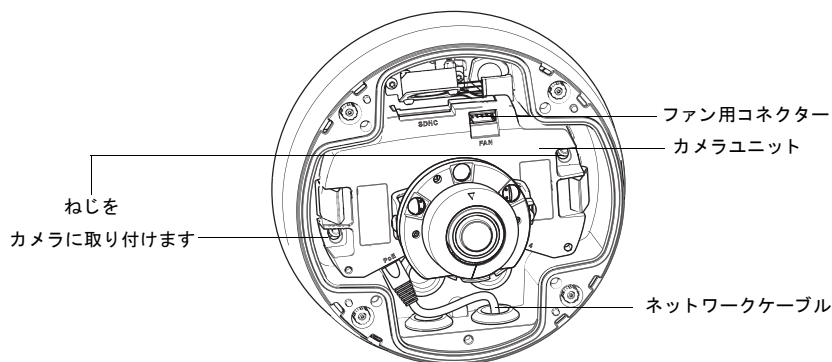
壁を通すケーブル配線

1. ドリルテンプレートを使用して、壁に 4 つの穴をあけます。
2. 壁と取付ブラケットの穴を通してネットワークケーブル（必要に応じて I/O ケーブル、オーディオケーブルも）を配線します。
3. 壁の材質に合ったねじを 4 本使用して、取付ブラケットを壁に取り付けます。
4. 側面のバネを押して、ユニットケーシングからカメラユニットを取り外します。
5. ユニットケーシングの背面の穴からガスケットを取り外します。ケーブルが 1 本のみの場合、1 つのガスケットのみを取り外します。
6. これらの穴を通してケーブルを配線します。
7. ケーブルと一緒にガスケットを引き、穴に差し込みます。ガスケットは折れたり曲がったりせずにぴったりとはまるはずです。
8. 4 本のねじを締めて、ユニットケーシングを取付ブラケットに取り付けます。

壁沿いのケーブル配線

1. ドリルテンプレートを使用して、壁に 4 つの穴をあけます。
2. 壁の材質に合ったねじを 4 本使用して、取付ブラケットを壁に取り付けます。
3. 側面のバネを押して、ユニットケーシングからカメラユニットを取り外します。
4. ユニットケーシングの側面の穴からガスケットを取り外します。ケーブルが 1 本のみの場合、1 つのガスケットのみを取り外します。
5. 取付ブラケットにユニットケーシングを置き、4 本のねじを締めて取り付けます。
6. ユニットケーシングの側面の穴を通してケーブルを引っ張ります。
7. ケーブルと一緒にガスケットを引き、穴に差し込みます。ガスケットは折れたり曲がったりせずに穴にぴったりとはまるはずです。
8. 2 本のねじを締めて、ケーブルシールドの上部を取り付け直します。

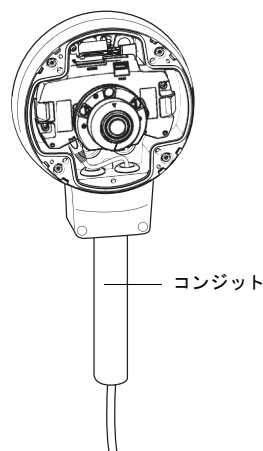
注記： ケーブルを壁に沿って配線するときにケーブルを保護するために、AXIS P3363-VE/P3364-VE に金属製コンジットを取り付けることもできます。

カメラユニットの設置

日本語

1. ネットワークケーブルをカメラユニットに取り付けます。必要に応じて、オーディオおよび I/O 用のケーブルも取り付けます。

注記： ネットワークケーブルが破損する可能性があるため、ネットワークケーブルを伸ばし過ぎたり、曲げすぎたりしないでください。

2. SD メモリーカードを挿入します (オプション)。
3. ユニットケーシングのバネを外側に押し広げ、カメラユニットを取り付けます。
4. ファンコネクターをカメラユニットのコネクターに取り付けます。
5. 2 本の M4x8 20 ねじをカメラに取り付けると、安定性が向上します。
   このねじは、大きな衝撃や振動に対して保護する場合のみ必要です。

注記： ケーブルを壁に沿って配線するときにケーブルを保護するために、AXIS P3363-VE/P3364-VE に金属製コンジットを取り付けることもできます。

④ IP アドレスの設定

AXIS P3363/P3364 ネットワークカメラは、イーサーネットネットワーク上で使用するために設計され、アクセスには IP アドレスが必要です。現在、ほとんどのネットワークでは、DHCP サーバーを使用して自動的に接続デバイスに IP アドレスを割り当てています。ネットワークに DHCP サーバーが導入されていない場合は、AXIS P3363/P3364 ネットワークカメラは、192.168.0.90 をデフォルトの IP アドレスとして使用します。

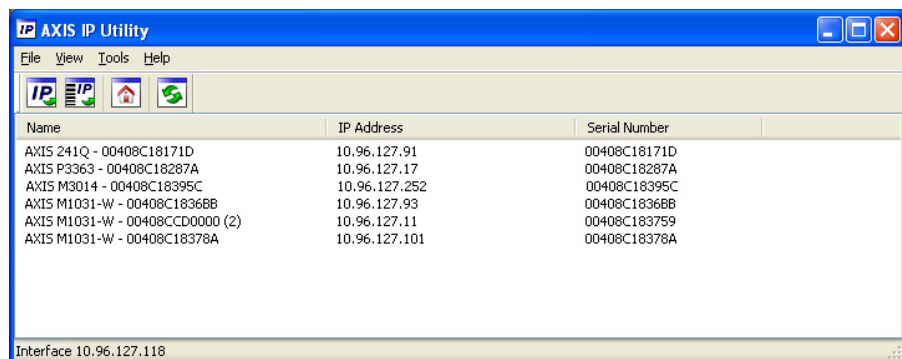
Windows 環境で IP アドレスを設定する際は、AXIS IP Utility または AXIS Camera Management をご使用ください。これらは無償のアプリケーションで、製品に付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD に収録されています。また、www.axis.com/techsup からダウンロードしてご利用いただけます。設置するカメラの台数に応じて、目的に最も適した手段をお選びください。

メソッド	推奨される製品設置環境	オペレーティングシステム
AXIS IP Utility 11 ページ参照	1 台のカメラ 小規模インストール	Windows
AXIS Camera Management 12 ページ参照	複数台のカメラ 大規模インストール 異なるサブネットでのインストール	Windows 2000 Windows XP Pro Windows 2003 Server Windows 2008 Server Windows Vista Windows 7

注記 :

- IP アドレスを設定できない場合、ファイアウォールが操作をブロックしていないかどうかを確認してください。
- 他のオペレーティングシステムに関して、AXIS P3363/P3364 ネットワークカメラの IP アドレスを設定または検出するために使用できる他の手法については、18 ページを参照してください。

AXIS IP Utility を利用する (1 台のカメラ / 小規模インストール向き)

AXIS IP Utility は、ネットワーク上の Axis デバイスを自動的に検出して表示します。このアプリケーションを通じて、手動で固定 IP アドレスを設定することもできます。
AXIS IP Utility は、AXIS ネットワークビデオ製品 CD に収録されています。または、www.axis.com/techsup からダウンロードしてご利用いただけます。

AXIS P3363-VE/P3364-VE ネットワークカメラは、AXIS IP Utility が動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント (物理サブネット) にインストールしてください。

自動検出機能

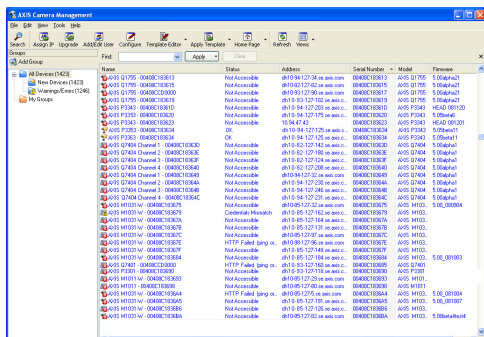
1. AXIS P3363/P3364 ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utility を起動します。
3. ウィンドウに AXIS P3363/P3364 が表示されたら、ダブルクリックしてカメラのホームページを開きます。
4. パスワードの設定方法については、13 ページを参照してください。

IP アドレスの手動設定 (オプション)

1. コンピューターの接続先と同じネットワークセグメントで未使用の IP アドレスを入手します。
2. リストで AXIS P3363/P3364 を選択します。
3. **[Assign new IP address to the selected device (選択したデバイスに新しい IP アドレスを設定)]** ボタン をクリックして、IP アドレスを入力します。
4. **[Assign (設定)]** ボタンをクリックし、画面の指示にしたがいます。新しい IP アドレスを設定するには、2 分以内にカメラを再起動する必要があります。
5. **[Home Page (ホームページ)]** ボタンをクリックして、カメラの Web ページにアクセスします。
6. パスワードの設定方法については、13 ページを参照してください。

日本語

AXIS Camera Management (複数台のカメラ / 大規模インストール向き)

AXIS Camera Management はネットワーク上の複数の Axis デバイスを自動的に検出し、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレード、IP アドレスの設定などを行うことができるソフトウェアです。

自動検出機能

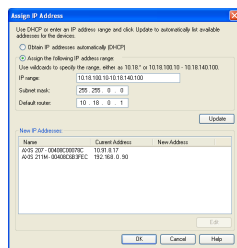
1. カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Management を起動します。ウィンドウにネットワークカメラが表示されたら、リンクを右クリックし、[Live View Home Page (ライブビューホームページ)] を選択します。
3. パスワードの設定方法については、13 ページを参照してください。

1 台のデバイスの IP アドレスを設定する

1. AXIS Camera Management で AXIS P3363/P3364 を選択し、[Assign IP (IP を設定)] ボタン をクリックします。
2. [Assign the following IP address (次の IP アドレスを設定)] を選択して、デバイスで使用される IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトルーターを入力します。
3. [OK] をクリックします。

複数のデバイスの IP アドレスを設定する

AXIS Camera Management を利用すると、特定の範囲から IP アドレスが提示されるため、複数のデバイスに IP アドレスを割り当てる作業を迅速化します。

1. 設定したいデバイスを選択し（異なるモデルも選択可能）、[Assign IP (IP を設定)] ボタン をクリックします。
2. [Assign the following IP address range (**次の IP アドレス範囲を設定**)] を選択して、デバイスで使用される IP アドレスの範囲、サブネットマスク、およびデフォルトルーターを入力します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

⑤ パスワードの設定

製品にアクセスするには、デフォルトの管理者ユーザー root (ルート) 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、[Configure Root Password (**ルートパスワードの設定**)] ダイアログ (AXIS P3363/P3364 に初めてアクセスしたときに表示されます) で行います。

root パスワードの設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐために、パスワードの設定は暗号化された HTTPS 接続を使用して行うことができますが、この場合には HTTPS 証明書が必要です。

標準の HTTP 接続経由でパスワードを設定する場合は、[Configure Root Password (**ルートパスワードの設定**)] ウィンドウでパスワードを入力します。

HTTPS 暗号化接続を使用してパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

1. [Create self-signed certificate (**自己署名証明書の作成**)] ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して [OK] をクリックします。証明書が作成され、安全な状態でパスワードを設定できるようになりました。以降、AXIS P3363-VE/P3364-VE ネットワークカメラとの間で送受信されるすべてのトラフィックは暗号化されます。

3. パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。[OK] をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。

HTTPS 接続を開始するには、このボタンをクリックします。

Create Certificate
Secure configuration of the root password via HTTPS requires a self-signed certificate.
Create self-signed certificate...

Configure Root Password
User name: root
Password:
Confirm password:

The password for the pre-configured administrator root must be changed before the product can be used.
If the password for root is lost, the product must be reset to the factory default settings, by pressing the button located in the product's casing. Please see the user documentation for more information.

Create Self-Signed Certificate
Common name:* 10.92.25.211
Validity: 365 days
*The name of the entity to be certified, i.e. the IP address or host name of this product.
OK Cancel
Once the certificate is created, this page will close and you will be able to configure the root password via HTTPS.

Configure Root Password using HTTPS
User name: root
Password:
Confirm password:
OK
The password for the pre-configured administrator root must be changed before the product can be used.
If the password for root is lost, the product must be reset to the factory default settings, by pressing the button located in the product's casing. Please see the user documentation for more information.

暗号化されていない接続を経由してパスワードを直接設定する場合、ここにパスワードを入力します。

4. ログインするには、画面の要求にしたがってユーザー名 "root" を入力します。

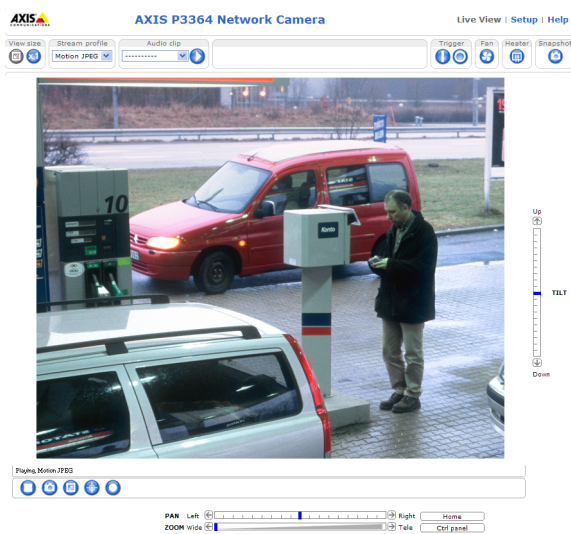
注記： デフォルトの管理者ユーザー名 root は削除できません。

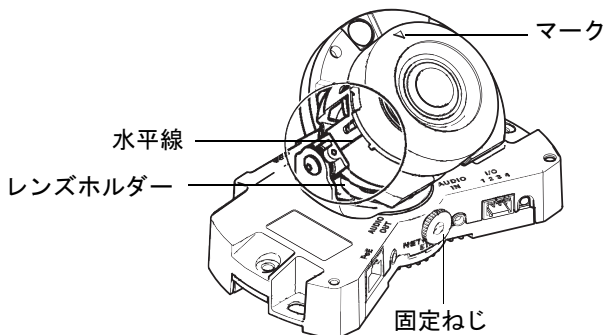
5. 上記の手順で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。パスワードを忘れてしまった場合、AXIS P3363-VE/P3364-VE を工場出荷時設定にリセットする必要があります。23 ページを参照してください。
6. 必要な場合、[Yes (**はい**)] をクリックして AMC (AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorer でビデオストリームを表示できます。インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。
7. 初めてネットワークカメラにアクセスするとき、ご使用場所に合った電源周波数 (50 Hz または 60 Hz) をドロップダウンリストから選択します。

注記： 電源周波数は、[Plain Config (プレーン設定)] で変更するか、または製品を工場出荷時の設定にリセットすると変更できます。不適切な周波数を選択すると、製品を蛍光灯のある環境で使用した場合に画像がちらつきます。50 Hz をご使用の場合は、最大のフレームレートが 25 fps に制限されます。

ビデオストリームにアクセスする

ネットワークカメラの [Live View（ライブビュー）] ページが表示されます。[Setup（設定）] リンクをクリックすると、カメラをカスタマイズできるメニューが表示されます。

注記： Windows 7/Windows Vista 環境に AMC をインストールするには、管理者権限で Internet Explorer を実行する必要があります。[Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[**管理者として実行**] を選択します。

⑥ レンズの調整

Web インターフェースで [Live View (ライブビュー)] ページを開き、次のカメラ設定を調整します。

1. 固定ねじを緩めます。
2. 必要な位置までレンズホルダーを回します。
3. レンズの両側の水平線が、水平となるようにレンズを回してください。

注記 : レンズカバーの水平線の間にあるマークが、上を向いていることを確認してください。

4. 位置を決めたら、固定ねじを慎重に締め、カメラの位置を固定します。
5. Web インターフェースで [Setup (**設定**)] > [Basic Setup (**基本設定**)] >[Focus & Zoom (**フォーカスとズーム**)] の [Focus Adjustment (**フォーカスの調節**)] ページを開き、画面の指示にしたがいます。画像ウィンドウを使用してフォーカスとズームを調整します。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

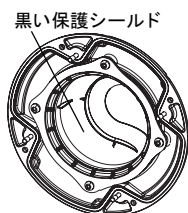
注記 :

- ドームの屈折があるため、ドームを取り付けると画像のピントがずれているように見えることがあります。この問題を修正するには、Web インターフェースで [Setup (**設定**)] > [Basic Setup(**基本設定**)] >[Focus & Zoom (**フォーカスとズーム**)] の [Focus Adjustment (**フォーカスの調節**)] ページを開き、フォーカスを再度調節してください。
- ズームとフォーカスを調節すると、定義された画角に IR ライトが自動的に調整されます。

警告 !

フォーカスとズームを手動で調整すると、レンズが破損する可能性があります。

⑦ インストールの完了

1. ドームカバーの内側にある黒い保護シールドを回転して、カメラの位置に合わせます。
2. 必要に応じて、ウェザーシールドをカメラに取り付けてから、ドームカバーを取り付けます。この場合、ドームカバーの 2 本のねじを外します。2 本のねじのワッシャーを、付属している 2 本の長いねじに付け替えます。2 本の長いねじを使用してウェザーシールドを取り付けます。
3. 4 本のねじを締めてドームカバーをユニットケーシングに取り付けます。

IP アドレスのその他の設定方法

次の表では、その他の IP アドレスの設定または検出方法を説明しています。すべての方法はデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

	対応オペレーティングシステム	注記
UPnP ™	Windows	コンピューターで有効になっている場合は、カメラが自動的に検出され、[My Network Places (マイネットワーク)] に追加されます。
Bonjour	Mac OS X (10.4 以降)	Bonjour に対応したブラウザーで使用できます。ブラウザー (Safari など) の Bonjour ブックマークに移動し、リンクをクリックしてカメラの Web ページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	Axis が無償で提供するサービスで、カメラをすばやく簡単にインストールできます。サービスの利用には、HTTP プロキシーを使用しないインターネット接続が必要です。詳細については、www.axiscam.net を参照してください。
ARP/Ping	すべて	以下を参照してください。コマンドの発行は、カメラに電源を接続してから 2 分以内に行う必要があります。
DHCP サーバーの管理ページの表示	すべて	DHCP サーバーの管理者ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

AXIS Video Hosting System (AVHS)

カメラを AVHS サービスに接続してビデオをホスティングすることもできます。AVHS サービスに加入している場合は、サービスプロバイダーのインストールガイドの指示にしたがってください。最寄りの AVHS サービスプロバイダーの詳細や検索方法については、www.axis.com/hosting を参照してください。この製品にはカメラ所有者の認証キーが付属しています。このキーは、ラベルの上部に記載されているカメラに一意のシリアル番号 (S/N) と関連付けられています。

注記 : このキーは、今後参照するために保管しておいてください。

ARP/Ping を使用して IP アドレスを設定する

1. コンピューターが接続されているネットワークセグメントと同一のネットワークセグメントで、未使用の IP アドレスを入手します。
2. AXIS P3363-VE/P3364-VE のラベルに表示されているシリアル番号 (S/N) を見つけます。
3. コンピューターでコマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。

Windows の構文	Windows **の例**
arp -s <IP アドレス > < シリアル番号 > ping -l 408 -t <IP アドレス >	arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00 ping -l 408 -t 192.168.0.125
UNIX/Linux/Mac の構文	UNIX/Linux/Mac **の例**
arp -s <IP アドレス > < シリアル番号 > temp ping -s 408 <IP アドレス >	arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp ping -s 408 192.168.0.125

4. ネットワークケーブルを外してから再接続して AXIS P3363-VE/P3364-VE を再起動します。
5. 画面に ‘Reply from 192.168.0.125:...’ またはこれに類似する応答メッセージが表示されたら、コマンドプロンプトを閉じます。
6. ブラウザーのロケーション / アドレスフィールドに「http://<IP アドレス >」と入力し、キーボードの Enter キーを押します。

注記 :

- Windows でコマンドプロンプトを開くには、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行 ...] を選択し、「cmd」と入力してから、[OK] をクリックします。
- Mac OS X で ARP コマンドを使用するには、[Application (アプリケーション)] > [Utilities (ユーティリティ)] で Terminal ユーティリティを使用します。

各種コネクター

ネットワークコネクター - 一般的な RJ-45 イーサーネットコネクター。Power over Ethernet に対応。

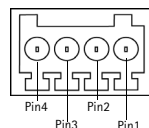
警告！

製品をご使用になる地域の規制または環境および電気条件によっては、シールドケーブル (STP) の使用が適切または必要な場合があります。屋外環境または屋外に類似した環境にネットワークケーブルを配線する場合、そのような特定用途に適したシールドケーブル (STP) をご使用ください。ネットワークスイッチが正しく接地されていることを確認してください。規制要件については、電磁環境適合性 (EMC) を参照してください。

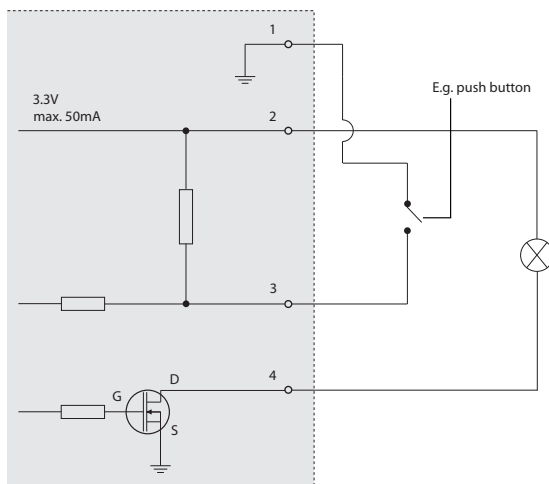
音声入力 - 3.5mm モノラルマイクロフォン、またはラインインモノラル信号 (ステレオ信号の場合は左チャンネルのみを使用) 入力ソケットです。

音声出力 - 音声出力 (ラインレベル) には、アンプ内蔵スピーカーや PA システムを接続することができます。また、ヘッドフォンを接続することもできます。この端子への接続には、ステレオコネクターを使用してください。

SDHC メモリーカードスロット - SD メモリーカードを利用すると、リムーバブルストレージでローカルに保存できます。

I/O ターミナルコネクター - 動体検知、イベントトリガー、録画、アラーム通知などのアプリケーションで使用されます。補助電源と GND ピンのほかに、次のインターフェースを提供します。

- 1 つのトランジスター出力 - リレーや LED などの外部デバイスを接続します。接続したデバイスは、VAPIX API (アプリケーションプログラミングインターフェース)、[Live View (ライブビュー)] ページの出力ボタン、または [Event Type (イベントタイプ)] で動作させることができます。アラームデバイスが起動されると、出力は active (有効) と表示されます ([System Options (システム オプション)]> [Ports & Devices (ポートとデバイス)] の下に表示)。
- 1 つのデジタル入力 - オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能なデバイス (たとえば、PIR、ドア / 窓のコンタクト、ガラスが割れた場合の検出器など) を接続するためのアラーム入力。信号を受信すると、状態が変化して入力が active (有効) になります ([System Options (システムオプション)]> [Ports & Devices (ポートとデバイス)] の下に表示)。

機能	ピン	注記	仕様
GND	1	接地	
3.3VDC 電源	2	補助デバイスに電源を供給することができます。 **注記** : このピンは電源出力のみとして使用できます。	最大負荷 = 50mA
デジタル入力	3	動作させるには GND に接続します。無効にする場合は、フロート状態 (または未接続) にしてください。	最小入力 = 0 〜 −40VDC 最大入力 = 0 〜 +40VDC
デジタル出力	4	オープンドレーン NFET トランジスターを使用。ソースは GND に接続。外部リレーとともに使用する場合は、電圧過度現象に対する保護のためにダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。	最大負荷 = 100mA 最大電圧 = +40VDC

AXIS P3363-VE/P3364-VE に外部デバイスを接続する場合は、下記の接続図を参考にしてください。

LED インジケーター

LED	色	説明
ネットワーク	緑色	100 Mbps ネットワークに接続されている場合に連続点灯します。ネットワークアクティビティーがあると点滅します。
	オレンジ色	10 Mbps ネットワークに接続されている場合に連続点灯します。ネットワークアクティビティーがあると点滅します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。
ステータス	緑色	正常動作時に、緑色で連続点灯します。
	オレンジ色	ネットワークカメラの起動中に点灯します。工場出荷時の状態へのリセット時、または設定の復元時には 1 度点滅します。
	赤色	アップグレードに失敗すると、ゆっくりと点滅します。
電源	緑色	正常に動作しています。
	オレンジ色	ファームウェアのアップグレードを行っている間、緑とオレンジ色で交互に点滅します。

工場出荷時設定へのリセット

この手順では、IP アドレスを含むすべてのパラメーターが工場出荷時設定にリセットされます。

1. ネットワークカメラの電源を切ります。
2. コントロールボタンを押しながらネットワークカメラの電源を入れます (6 ページの *「ハードウェアの概要」* を参照してください)。
3. ステータスインジケーターがオレンジ色で点灯するまでコントロールボタンを 15 秒間ほど押し続けます。
4. コントロールボタンを離します。約 1 分後に、ステータスインジケーターが緑色に変化したら、このプロセスは完了です。ネットワークカメラが工場出荷時設定にリセットされました。デフォルトの IP アドレスは 192.168.0.90 です。
5. IP アドレスを再設定します。
6. カメラのピントを再調節します。

Web インターフェースを使用してパラメーターを工場出荷時設定にリセットすることもできます。[Setup (設定)] > [System Options (システムオプション)] > [Maintenance (メンテナンス)] に移動します。

インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする

IP アドレスの設定が完了すると、お使いのローカルネットワーク (LAN) で AXIS P3363-VE/P3364-VE にアクセスできるようになります。インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする場合は、トラフィックを受け入れられるようネットワークルーターを設定する必要があります (通常、特定のポートで行われます)。

- 閲覧と設定を行う場合は、HTTP ポート (デフォルトポート : 80)
- H.264 ビデオストリームを閲覧する場合は、RTSP ポート (デフォルトポート : 554)

詳細については、お使いのルーターのマニュアルを参照してください。この他のトピックについての詳細は、Axis のサポートサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

関連情報

ユーザーズマニュアルは Axis ウェブサイト www.axis.com から入手できます。Axis の製品およびテクノロジーについて詳しくは、ネットワークビデオについてのグローバルラーニングセンター www.axis.com/academy をご覧ください。

ヒント :

www.axis.com/techsup にアクセスして、Axis 製品のファームウェアのアップデート版がリリースされていないかどうか確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、Web インターフェースで [Setup (設定)] > [About (バージョン情報)] をクリックします。